

北海道大学総合博物館

# ボランティア・ニュース

創刊号(2005) ~ 第25号(2012) 総目次

2012年6月

北海道大学総合博物館

ボランティアの会



## 総目次発行を祝って

### 在田一則(北大総合博物館ボランティアの会会長)

北海道大学総合博物館ボランティア・ニュースは2005年2月に創刊号が発行され、2012年6月に25号が発行されました。それを記念して1号～25号の総目次を別冊として作成いたしました。

北大総合博物館ボランティアの会の会則第2条で、「本会は、北海道大学総合博物館の活動が円滑に行われるように総合博物館に協力し、また会員相互の交流と親睦を図ることを目的とする。」と謳っております。つまり、ボランティアは博物館活動に協力し貢献するだけでなく、ボランティア相互が交流を通じて、互いの親睦を深め相互理解をするとともに、各自の専門的な知識や技能を高め、情報を交換して他の分野についての知識を得ることが求められています。

ボランティアの会では、そのような目的達成のために、ボランティアの自主的な活動としてボランティア談話会や博物館に押しかけよう会(博物館見学会)などを行っていますが、「ボランティア・ニュース」の発行もその一つです。

総目次を見る、1号と2号は2頁立てですが、3号からの4頁立てを経て、17号からは、倍の8頁立てにほぼ定着しています。内容は博物館スタッフからのメッセージや各グループの活動報告、談話会や博物館に押しかけよう会の報告が定番と言えますが、13号から始まった博物館1階の(知の蓄積)コーナーに肖像写真が掲げられている北大を代表する大先生がたの研究内容やエピソードなどを紹介した特別寄稿シリーズが注目されます。大先生のことをご存知の方々が少なくなっていくことを考えると、このような記録を残しておくことも総合博物館として重要なことと思います。

今後も、より多くのボランティアの皆さんに、それぞれのグループの仕事のことや、日頃思っていることなどをどしどし書いていただいて、「ボランティア・ニュース」をボランティアの交流の場として皆さんで、さらに育てていきたいと思っております。

最後になりましたが、日頃の記事集めに、ご苦労されている編集委員の皆さんにお礼を申し上げます。

分 類	タイトル	筆 者	頁
<b>2005 (平成17)年2月 創刊号</b>			
報 告	ボランティア・ニュース創刊?	事務局	1
報 告	ボランティアの会とは?	望月 直	1
館長挨拶	ボランティア・ニュースができた!	館長 藤田 正一	1
感 想 文	ボランティア・ニュースへの期待	沼田 勇美	2
報 告	明るい教室と机、そして本棚	星野 フサ	2
お知らせ	ボランティア募集	事務局	2
<b>2005 (平成17)年5月 第2号</b>			
活動報告	植物標本貼りボランティア・原グループのご紹介	金上 由紀	1
感 想 文	博物館に思うこと	会長 久万田 敏夫	2
報 告	FAQ これ本物ですか?	望月 直	2
<b>2005 (平成17)年10月 第3号</b>			
展示紹介	2005年夏のシベリア・マンモス展	高橋 英樹	1
感 想 文	シベリア・マンモス展を終えて	福田 正己	1
感 想 文	マンモス展	中野 系	2
感 想 文	ボランティア解説員泣き笑い	寺西 辰郎	2
報 告	北大総合博物館見学者ついに20万人を超える	事務局	3
<b>2006 (平成18)年3月 第4号</b>			
紹介シリーズ	博物館の展示	事務局	1
考古学展示	「オホーツク文化研究はどのように深められてきたか」	天野哲也	1
化石グループ	ボランティア「化石グループ」の紹介	中野 系	2
植物標本	陸上植物標本庫の学生ボランティアについて	持田 誠	3
展示解説	解説員に訊いてしまおう	望月 直	3
報 告	北大総合博物館ショップを訪問	沼田 勇美	4
お知らせ	事務スタッフが替わりました	事務局	4
<b>2006 (平成18)年7月 第5号</b>			
紹介シリーズ	博物館の展示	星野・小俣	1
お知らせ	2006年度総会開かれる	事務局	2
報 告	ボランティアの会会長就任のご挨拶	会長 在田 一則	2
企画展示	モンゴルの恐竜 -大型恐竜と鳥類の進化-	事務局	3
報 告	展示解説研修会が開かれました	事務局	3
報 告	4月～6月の活動報告	事務局	3
<b>2006 (平成18)年9月 第6号</b>			
紹介シリーズ	博物館の展示「海を測る」	松枝 大治	1
お知らせ	「21世紀COEプログラム」	松枝 大治	1~2
企画展示	2006年企画展示 - モンゴルの恐竜展	相原 大介	2
お知らせ	入館者は2万人、ボランティア32名が大活躍	事務局	2
お知らせ	昆虫観察会 in 野幌森林公園	永山 修	2
お知らせ	「北大の山小屋」第5回談話会より	斎藤 美智子	3
お知らせ	スーパーサウルスは大きかった	永山 修	3
お知らせ	第6回談話会が決まりました	永山 修	3
お知らせ	ボランティア室の利用について	事務局	4
お知らせ	7月～9月の活動報告	事務局	4
<b>2007 (平成19)年1月31日 第7号</b>			
年頭挨拶	ボランティアの皆さま あけましておめでとうございます	会長 在田 一則	1
紹介シリーズ	3階展示 その1	星野・小俣	2
感 想 文	私がボランティアをしていた頃	塚本 精蔵	3
感 想 文	一期一会 チェンバロ演奏をして思うこと	受付 小西	3
お知らせ	レイチェル・カーソン展について	沼田 勇美	3
お知らせ	第7回 談話会のお知らせ	事務局	4
報 告	10月～12月の活動報告	事務局	4
お知らせ	2007年度ボランティアの登録のお願い	事務局	4

分 類	タイトル	筆 者	頁
<b>2007(平成19)年5月1日 第8号</b>			
紹介シリーズ	3階展示 その2 (7号からの続き)	星野・小俣	1~2
報 告	宮沢アルバム展に取り組んで	沼田 勇美	2
お知らせ	2007年度ボランティア会総会のお知らせ	事務局	2
感想文	雑草と呼ばれる植物の話	持田 誠	3
報 告	談話会・沼田さんの「アルバトロスの島で暮らして」を拝聴して	星野 フサ	3~4
お知らせ	着々と準備が進む「フアーブルにまなぶ」展	事務局	4
報 告	1月~3月の活動報告	事務局	4
<b>2007(平成19)年9月1日 第9号</b>			
新館長挨拶	ご挨拶	館長 馬渡 駿介	1
報 告	2007年度総会開かれる	事務局	1~2
紹介シリーズ	3階展示 その3 「生物標本(3階) 昆虫」	稲荷 尚記	2~3
報 告	好評だった植物採集会	佐藤 広行	3
報 告	「フアーブルにまなぶ」展・「レイチェル・カーソン」展始まる	事務局	3~4
お知らせ	ボランティア保険 手続きしましたか?	事務局	4
報 告	4月~6月の活動報告	事務局	4
<b>2008(平成20)年1月31日 第10号</b>			
お知らせ	ボランティアの皆さん	事務局	1
報 告	「フアーブルにまなぶ」展に協力ありがとうございました	永山 修	1
報 告	「100年記念パネル展に取り組んで	沼田 勇美	2
報 告	余談、悲劇の北大生宮澤弘幸の「アルバム展」没後60周年	沼田 勇美	2
談話会報告	第1回ボランティア講座&交流会が開かれました	事務局	2
活動報告	野幌での昆虫観察会に再び参加しました	星野 フサ	3
報 告	談話会&忘年会は大盛況	事務局	4
<b>2008(平成20)年11月1日 第11号</b>			
お知らせ	ボランティアの皆さん(経緯・話し合い・考え・再出発)	事務局	1~2
報 告	2008年度の活動状況	事務局	2
紹介シリーズ	化石クリーニングで考える	石橋 七朗	2~3
紹介シリーズ	黒曜岩展示について	安田 正	3
感想文	富士山の森林限界と玄武岩溶岩について	星野 フサ	3
お知らせ	Mrs. Keen Akiko 北大へ再び	沼田 勇美	4
お知らせ	南極写真展『剥き出しの地球ー南極大陸』	事務局	4
<b>2009(平成21)年3月25日 第12号</b>			
資料紹介	「大本営」と「行在所」門標	久末 進一	1
紹介シリーズ	博物館と私	黒田 シズ	2
報 告	イタリアンチェンバロでイタリアンバロックを! No.2	永山 修	2~3
報 告	子供セミナー「黒曜岩(石)石器を作りませんか」開催報告	寺西 辰郎	3
特集・博物館訪問	第1回 博物館におしかけよう「小樽市総合博物館」	永山 修	3~4
報 告	2008年12月~2009年2月までの活動報告	事務局	4
<b>2009(平成21)年6月30日 第13号</b>			
会 報	第7回 ボランティア総会開催	会長 在田 一則	1
特別寄稿	ネスパ? の長尾先生(その1/4)	加藤 誠	1~2
お知らせ	博物館図書ボランティアが発足	沼田 勇美	2~3
活動紹介	チェンバロボランティア活動	新妻 美紀	3
お 便 り	博物館のうらがわへ! 福井市自然史博物館ボランティアの試み	田中 嘉寛	3~4
お知らせ	構内入構証・ボランティア室の鍵・コピー機使用	江島 係長	4
<b>2009(平成21)年9月1日 第14号</b>			
特別寄稿	加藤誠先生の紹介	安田 正	1
特別寄稿	ネスパ? の長尾先生(その2/4)	加藤 誠	1~2
活動紹介	憧れの博物館ボランティア	粕谷 美也子	2~3
報 告	2009年度、第1回ボランティア講座&交流会	星野 フサ	3
報 告	2009年度、第1回談話会(諏訪先生の「ハエのはなし」)の報告	事務局	3
活動紹介	翻訳グループ(HUISA)と対談	星野 フサ	4
お 便 り	皆さんの努力に感謝します	前館長 藤田 正一	4

分 類	タイトル	筆 者	頁
<b>2009 (平成21)年12月1日 第15号</b>			
特集・博物館訪問	札幌市内の博物館	安田 正	1
特集・博物館訪問	室蘭市民族博物館と白鳥大橋観光の旅(9月13日)	久末 進一	2
特集・博物館訪問	野外博物館・北海道開拓の村訪問記	在田 一則	2~3
博物館訪問記	琵琶湖博物館訪問記	星野 フサ	3
特別寄稿	ネスバ? の長尾先生(その3/4)	加藤 誠	3~4
お知らせ	ボランティア室に電話・忘年会(12月11日)	事務局	4
<b>2010 (平成22)年3月1日 第16号</b>			
特別寄稿	ネスバ? の長尾先生(その4/4) 最終回	加藤 誠	1
活動紹介	「私と黒曜石」	寺西 辰郎	2~3
活動紹介	化石ボランティア(クリーニング・レプリカ製作班)最近の活動	石田 祐也	3
活動紹介	植物ボランティアの活動紹介	甲山 幸子	3~4
談話会報告	本年は4回開催しました。	事務局	4
談話会報告	第2回「きのこあれこれ」	小林 孝人	4
談話会報告	第3回「JICAシニア海外ボランティアから見たフィジー諸島共和国」	八木田 道敏	4
談話会報告	第4回「水とのかかわり」	児玉 諭	4
<b>2010 (平成22)年6月1日 第17号</b>			
会 報	第8回ボランティアの会総会・講演会および懇親会	会長 在田 一則	1
特別寄稿	ボランティアの方々へのメッセージ	湯浅 万紀子	2
特別寄稿	松村松年先生小伝 ①	久万田 敏夫	2~3
博物館訪問記	サハリン州ティモフスコエ郷土博物館を訪ねて	小野 裕子	3~4
博物館訪問記	小さな小さな博物館(三鷹市の昆虫館)	永山 修	4
博物館訪問記	ミャンマーの国立博物館を見学しました	星野 フサ	4~5
活動報告	ヤップの石貨・・・北大博物館の“お宝”	久末 進一	5~6
活動報告	4Dシアターという場所	石倉 未奈	6
活動報告	キノコの世界を楽しみませんか	鈴木 順子	6~7
報 告	「大本营」と「行在所」門標 第2報	沼田 勇美	7
お知らせ	開館10周年・「博物館まつり」	事務局	7
新館長挨拶	長年のボランティア活動に感謝しております	館長 松枝 大治	8
お 便 り	喜びのお便り	村上 龍子	8
<b>2010 (平成22)年9月1日 第18号</b>			
新館長挨拶	「温故知新」と北大総合博物館	館長 松枝 大治	1~2
特別寄稿	松村松年先生小伝 ②	久万田 敏夫	2~3
活動報告・他	権太 戦争、抑留、帰国、研究へ	石橋 七朗	3~4
報 告	第17回談話会(7月2日)でお話しさせていただきました	清水 香	4~5
活動報告	カルチャーナイト2010	石川 満寿夫	5~6
活動報告	北海道大学に魅了された私	石黒 弘子	6
活動報告	「知の交流」コーナー紡ぐバロック音楽の織物	谷川 千佳子	6~7
活動報告	コラム(序)	安田 正	7
活動報告	コラム(1) 「微笑みの国 ー タイ」	安田 正	7~8
編集後記	星野・沼田・永山	事務局	8
<b>2010 (平成22)年12月1日 第19号</b>			
特別寄稿	アラスカ恐竜研究の成り行き	小林 快次	1~2
活動報告	「アラスカの恐竜」展を終えて	石田 祐也	2
活動報告	素敵なカナダ恐竜発掘	千葉 謙太郎	2~3
特別寄稿	松村松年先生小伝 ③	久万田 敏夫	3~4
報 告	様々な境界領域トカラ ～日本で一番長い村を知っていますか	福澄 孝博	4~5
活動報告・他	遠友夜学校のある生活	竹内 ひかる	5~6
活動報告	植物標本庫の実態について	松井 洋	6
活動報告	『モノづくり』の愉しみ	鈴木 順子	6~7
報 告	博物館にある故軍医(医学部20期生)の鉄兜	沼田 勇美	7~8
報 告	「大本营」と「行在所」門標 第3報	沼田 勇美	8
<b>2011 (平成23)年3月1日 第20号</b>			
特別寄稿	第19回談話会・情報化社会を考える	宮本 衛市	1
活動報告・他	第5回 『地図と鉱石の山の手博物館』訪問記	塚田 則生	1~2
報 告	「クラーク博士像」の石柱台座	久末 進一	2~3
報 告	「シベリア抑留」とはなんであったろうか? (その1/2)	石橋 七朗	3~4

分 類	タイトル	筆 者	頁
<b>2011(平成23)年6月1日 第21号</b>			
会 報	第9回ボランティアの会総会、講演会および懇親会開催	会長 在田 一則	1
館長挨拶	ようこそ、北大博物館へ	館長 津曲 敏郎	2
特別寄稿	松村松年先生小伝 ④	久万田 敏夫	2~4
活動報告・他	陰のボランティア	与那覇 モト子	4
活動報告・他	津波被害 岩手県陸前高田市博物館蔵 昆虫標本修復のお手伝い	永山 修	4~5
活動報告・他	植物標本修復のお手伝い	吉中弘介・星野フ	5
活動報告・他	「シベリア抑留」とはなんであったろうか? (その2/2)	石橋 七朗	5~6
<b>2011(平成23)年9月1日 第22号</b>			
特別寄稿	松村松年先生小伝⑤ 最終回	久万田 敏夫	1~2
活動報告・他	北大「大本営」昭和天皇の玉座を発見しました!	久末 進一	2~3
活動報告・他	「平瀬標本」物語	安田 正	3~5
活動報告	北大チェンバロ~爽やかな夏の奏	長竹 新	5~6
博物館訪問記	マイントピア別子(愛媛県新居浜市)	在田 一則	6~7
事務局から	総合博物館ボランティアの会事務局の新体制	在田 一則	7~8
協力をお願い	Lepidoptera展フロア対応ご協力をお願い	研究支援推進員	8
<b>2011(平成23)年12月1日 第23号</b>			
特別寄稿	宮部先生を想う	佐藤 政雄	1~2
活動報告	調査記録と採取遺物	西本 結美	3
談話会報告	第21回 国蝶オオムラサキ選定論争始末記	青山 慎一	4~5
談話会報告	第22回 そば打実演と新そば堪能会	在田 一則	5
特集・博物館訪問記	第6回 円山動物園バックヤード見学会に参加して	山岸 博子	6~7
特集・博物館訪問記	第7回 北海道立文学館の見学会に参加	沼田 勇美	7
報 告	「博物館ボランティアの集い 2011」報告	在田 一則	8
<b>2012(平成24)年3月1日 第24号</b>			
特別寄稿	中谷宇吉郎先生小伝	樋口 敬二	1~2
特別寄稿	「タール癌」の話	藤田 正一	3~4
活動報告・他	地に足をつけて振り返る 平成遠友夜学校という学びの場	齋藤 亮	4~5
談話会報告	第23回 「チェンバロとバロックトランペット・声楽の夕べ」	安田 正	5~6
博物館訪問記	第8回 弥永北海道博物館訪問記	石川 満寿夫	6~7
退任にあたって	「石の上に50余年」	松枝 大治	7~8
退任にあたって	1. 考古学 2. 図書	天野 哲也	8
お知らせ	企画展示「クラーク博士と札幌の植物」に協力お願いします	研究支援推進員	8
<b>2012(平成24)年6月1日 第25号</b>			
会 報	第10回ボランティアの会総会、講演会および懇親会の報告	会長・在田 一則	1~2
特別寄稿	中谷宇吉郎先生小伝 ②	樋口 敬二	2~4
活動報告	ボランティア・ニュース創刊号を発行した頃	星野 フサ	4~5
活動報告	“真面目のご褒美?”	石田 多香子	5~6
博物館訪問記	“大韓民国国立生物資源館”訪問記	村山 茂樹	6~7
着任の挨拶	北大総合博物館 講師	江田 真毅	7
着任の挨拶	北大総合博物館 准教授	山本 順司	8
<b>2012(平成24)年6月1日 別冊</b>			
総目次	ボランティア・ニュース総目次 創刊号(2005年)~第25号(2012年)	ボランティアの会	6p.

## あとがき

北海道大学総合博物館の『ボランティア・ニュース』の創刊号が発行されてから約7年が経過しました。ニュースを年に4回発行することを目標に編集部一同は、頑張っています。

『継続は力なり』とも云われますが、発行号数も2012年6月で、第25号に成りました。発行号数が増えるにつれて博物館内でも、このニュースの名前が次第に定着しつつあります。そして最近では毎号の発行部数が、300部を超えるように成りました。

ここで少し過去を振り返って、題して「北海道大学ボランティア・ニュース総目次」作成しました。別冊として刊行しましたので、今後の参考にして下されば幸いです。

編集委員会 沼田 勇美 記

## タイトルから見た項目数集計

創刊号から第25号までのタイトルについての項目別数を集計しました。その結果は、下の集計表のとおりです。項目数の多いのは報告・お知らせ・活動報告などです。

項 目	数	項 目	数
報 告	36	談話会報告	5
お知らせ・お便り	30	会 報	4
活動報告	31	館長挨拶	5
特別寄稿	17	退任・着任挨拶	4
博物館訪問記	15	企画展示	2
紹介シリーズ	9	その他	12

-----

ニュース原稿の寄稿、または談話会、見学会などの企画に際して、皆さまのご意見、アイデアをお待ちしています。

\* ボランティア・ニュースは博物館のホームページからも ご覧になれます。

<http://www.museum.hokudai.ac.jp>

### ボランティア・ニュース総目次 別冊

- ◆編集・発行  
北海道大学総合博物館ボランティアの会  
( 担当者： 星野・石川・沼田・永山・安田 )
- ◆発行日： 2012 年 6月 1日
- ◆連絡先  
〒060-0810 北海道大学総合博物館  
札幌市北区北10条西8丁目

改訂版 2012.07.07